

ところざわ倶楽部
第15期定期総会資料

2021年11月29日(月)

ミューズ展示室

目 次

1. 第 14 期ところざわ倶楽部総括	P 3
2. 第 14 期活動報告	
2-1 総務部報告	P 5
2-2 事業部報告	P 7
2-3 広報部報告	P 8
2-4 サークル活動報告	P10
3. 第 14 期会計報告および監査報告	P17
4. 第 15 期役員改選 (案)	P18
5. 第 15 期ところざわ倶楽部活動方針 (案)	P19
6. 第 15 期活動計画 (案)	
6-1 事業活動計画 (案)	P20
6-2 広報活動計画 (案)	P21
7. 第 15 期予算 (案)	P22

1. 第14期 ところざわ倶楽部総括

“蔓延防止・緊急事態宣言”が繰り返されるなかで 状況に応じた活動を推進することができました

ところざわ倶楽部 会長 佐藤 重松

2021年(14期)も、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大に翻弄され、自粛生活はもとより、サークル活動も積極的に展開しにくい状況下にありました。

その間、高齢者は先行してワクチン接種がすすみ若干の安堵を得ましたが、首都圏に於いては、変異株等の感染拡大の猛威が続く中で、医療崩壊を招き、結果自宅療養者が増大し、満足な医療を受けられず、自宅で無念の最期を迎えた方が多くいたことを記し、コロナ禍で犠牲となられたみなさまのご冥福をお祈り申し上げます。

また、地球温暖化がもたらす異常気象、頻繁に発生する線状降水帯（ゲリラ豪雨）による河川の氾濫は、護岸政策の脆弱さを浮き彫りにしました。同時に、土石流の発生や山肌の崩落は林野政策の後退が招いた人災と言っても過言ではないように思います。近年、増々自然災害の脅威はその規模を拡大し、被災地と被災者の皆様に繰り返し襲来し、塗炭の苦しみは極限に達しているのではないのでしょうか。

あらためて、心よりお見舞い申し上げます。

1) 第14期全体の取り組みについて

コロナ禍の状況に於いても、役員会や理事会は定例的に開催し、感染リスクを最小限とする各イベントの在り方等の検討がなされ、一人の感染者を出すことなく実施できたことは、会員各位の公衆衛生や予防意識の高さの賜物であったと思います。

① 関連するサークル主体で、事業部と共同開催のアウトドア活動を実施

第1弾は「航空発祥の歴史を訪ねて」。野老澤の歴史をたのしむ会の案内で実施、30余名が航空公園の散策を楽しみました。

第2弾は「カルチャーパーク清掃ボランティア体験会」。ふるさと公園応援（深澤満代表）の定例作業日に合同参加し、20数名が公園美化活動に勤めました。

第3弾は第1回「所沢の民話由来地巡り」を民話の会の案内で楽しみました。参加の皆さんの好評を得て第2回「所沢の民話由来地巡り」を実施予定。

今回は、自然と農業サークルのつながりで、重要文化財の柳瀬荘・黄林閣の見学

もコースに入れ、管理者の針生清美さんのご案内をいただく予定です。

② チャリティーコンサート

所沢在住の三戸素子&小澤洋介両氏のヴァイオリンとチェロの素晴らしい演奏を、100名を超える参加者が堪能しました。集まった寄付 64,951 円を社会福祉協議会に届け、感謝状をいただきました。又、フードバンクへたくさんの食材提供など、SDGsにつながる活動の一環となりました。

③ 文芸講座「本と出会う・いま読んでおいて良かった」

秋草学園短期大学教授 及川道之先生に、連続 2 回講座を軽妙な語りで受講者に本を読むことの素晴らしさを伝えていただきました。以前は学習センターでの連続 4 回講座でしたが、コロナ下でも従来の参加者数を受け入れるため、新所沢公民館ホール（制限 120 人）での講演となりました。

④ 時局講演会「食情報のウソ・ホント」

群馬大学名誉教授 高橋久仁子先生に講演いただき、現代社会に於いて、如何に食に対する怪しい情報が溢れているか、その情報が適切なものかを判断するリテラシー（情報の読み解き能力）を高めましょう、とお話されました。

2) コロナ禍のなかで、市民大学 27 期・28 期が日程的に困難を極め、修了や開講が大幅に遅れました。修了時の OB 会活動説明会も入会のアプローチも出来ないままに、結果、残念ながら“入会歓迎の宴”も開催できませんでした。

また、来期は市民大学修了生は誕生しません。現役受講生であっても入会を拒むものではありません。ぜひ、修了後を見据えて入会されることを期待します。

3) ところざわ倶楽部運営の 3 本の柱

総務・事業・広報は、この 4 年間で飛躍的に、“微に入り細に入り”会員のみならず多くの多彩な情報の送受信ができたと思います。

総務部は、倶楽部運営の要として多面的に役割を果たし、予算執行、サークル及び会員名簿の管理、理事会次第及び議事録の作成を行いました。今期は、SDGs17 項目に結び付けたサークルの一覧表を作成しました。入会説明会が不可となり、それに代わる各サークルのミニパンフを作成、生涯学習推進センターに掲示し勧誘しました。総会の開催のために、数か月まえから入念に準備をしてきました。

事業部は、コロナ下にあって、理事会終了後に打ち合わせを重ね、感染リスクを最小限にして講演会や講座、コンサートを開催し、自粛生活によるフレイル化を防ぐ対策としてアウトドア行事を積極的に取り入れました。

広報部は、毎月編集会議を重ね、編集委員からの原稿の依頼に始まり、それをペー

ジにレイアウトし、PC 送受信で何度も校正作業を繰り返して完成し、みなさまへ「広場」をお届けしました。

編集会議は先駆的にジェンダーギャップを排し、男女半々で編集から印刷作業まで分担しました。また、HP に於いても、年々多彩なジャンルで、大変楽しく学べる交流の場となっています。今期は、広報部長はじめ有志で PC 相談会が回を重ねて開かれ、PC 活用の幅が広がった会員が増えたようです。

ところざわ倶楽部は、14 のサークルが独自の活動を展開しながら、縦横そしてスクランブルに交流と親睦を積み重ね、ときには一同に集い、身近な地域や社会に SDGs 活動を実践してきた稀有な存在です。この素晴らしい活動を継承発展していくためには、絶えず能動的なマンパワーが必要です。ぜひ、我も我もと参画して牽引していただくよう希望します。

2. 第 14 期 活動報告

2-1 総務部報告

総務部長 中原幹男

1. 会員動向

前 13 期在籍会員数は 252 名、退会者は 32 名。今 14 期入会者は 16 名で、在籍会員数は 236 名です。

2. サークル動向

サークル数 (13 期 14 サークル) の増減はありません。各サークルの活動状況は、2-4 サークル活動報告をご覧ください。

3. 理事会開催

11 回の定例理事会を開催し、諸課題を議論しました。役員会 (会長、副会長、部長、副部長で構成) は 12 回開催しました。コロナ対応も 2 年目となり、感染予防要領を習熟し、3 密の回避・検温・常時換気など対策を講じながら会議を行いました。

理事会構成：佐藤重松、森野辰夫、玉上佳彦、中原幹男、大木美和子、松尾基昭、大西優、仲山富夫、薄井文子、岡崎久子、西郡貢、水上俊彦、内川賢治、栗屋貴夫、鹿嶋伸郎、梅津博紀、園田ヒロ子、川上紀春、浪間扶美子、石堂智士、木下みえこ、岩渕雅之、小田島禮子 (23 名)

役員会構成：佐藤会長、森野副会長事業部長、玉上副会長広報部長、中原副会長総務部長、大木副会長、松尾事業部副部長、小田島広報部副部長、大西総務部副部長 (8 名)

4. 市民大学との連携

市民大学受講中の方々に対し、広報紙「広場」の定期配布や行事チラシの配布などで、倶楽部行事やサークル活動を紹介して参加を働きかけ、受講中から倶楽部になじみをもってもらえるよう図りましたが、コロナのため中止行事が多く、市民大学も緊急事態宣言中は休講していたので、積極的な勧誘が困難でした。

例年行われていた、市民大学企画委員会とOB団体との懇談会も、27期生向けのOB団体説明会も中止となり、閉校式も今年5月に延期され、OBサークル活動展示会も中止となりました。

そのような中、27期企画委員、28期企画委員長の理事会出席により、市民大学の状況を把握し、今後の対応検討を続けています。

5. 第15期定期総会

11月29日（月）ミューズ展示室にて、開催

14時から総会 第2部 懇親会

6. 細則および運用規定の改正報告

市民大学の修了時期が変動したことから、中途入会に対応する会費と広報郵送費の細則および運用規定の改正案が、7月と9月の理事会で承認されたことを報告します。

ところざわ倶楽部細則

第6条 会則第7条の入会手続きについては、次のとおりとする。

- (1) 新規入会申込みは原則として市民大学修了時に申込みするものとするが、それ以外でも随時申込みできる。

*この後ろに以下の(2)項を追加

- (2) 新規入会年月日に応じた年度会費を次のとおりとする。

11月1日～4月30日入会 2,000円

5月1日～10月31日入会 1,000円

ところざわ倶楽部運用規定

(広報紙「広場」の配布)

第6条 「広場」はネット配信を基本とする。

ただし、郵送を希望する場合は、郵送代として年間800円を会計に納付する

*この後ろに以下の(2)項を追加

- (2) 新規入会年月日に応じた郵送代を次のとおりとする。

11月1日～4月30日入会 800円

5月1日～10月31日入会 400円

2-2 事業部報告

事業部長 森野辰夫

昨年に引き続き、各種イベントは3密を避け、参加人数を制限し、消毒、検温等を徹底し、みなさまのご協力により、コロナ感染者もなく、無事下記のイベントを開催することが出来ました。また今年度はサークルとの共催事業として、サークルで基本計画を立て、倶楽部全体でバックアップするという形で幾つかのイベントを実施しました。

	実績	イベント名	開催日	会場	参加人員	備考
1	中止	新春の集い				
2	開催	チャリティーコンサート	4月19日	新所沢公民館ホール	102名	無料
3	開催	文芸講座	6月17日 24日	新所沢公民館ホール	会員59名 一般19名	会費 会員：1000円 一般：1300円
4	開催	時局講演会	10月28日	新所沢公民館ホール	111名	無料
5	開催	総会	11月29日	ミューズ	100名程度	
6	サークル共催事業	野老澤の歴史を楽しむ会：航空公園 2月18日 35名参加				
		ふるさと応援隊：カルチャーパークボランティア体験 4月27日 17名参加				
		民話の会：第1回民話由来地巡り 5月14日 30名参加				
		民話の会：第2回民話由来地巡り 11月11日 30名参加予定				

* 「ところざわ倶楽部まつり」は、コロナ禍のため昨年に引き続き中止しました。

1. 新春の集い

例年開催している、新会員歓迎をかねた新春の集いは、市民大学の卒業時期がずれたこと、予定会場の彩翔亭がコロナ禍の影響で閉鎖したため、中止しました。

2. チャリティーコンサート

コロナ蔓延防止中でしたが感染防止対策をとり、少しでも楽しい気分になっていただきたいと願い、ヴァイオリンとチェロのコンサートを開催しました。世界的に活躍されている所沢市在住の演奏者にご協力いただきました。チャリティー募金は、所沢市福祉協議会に寄付しました。

3. 文芸講座

例年、生涯学習推進センターにて4回講座として開催しておりましたが、コロナ禍のため教室が使用不可となりましたので、3密を避けるべく、広い新所沢公民館ホールにて

2回講座として開催しました。“今読んでおいてよかった”というテーマで、時世に合った3冊の本を取り上げ講演していただきました。

4. 時局講演会

昨年はコロナ禍のため開催を断念しましたが、今年度は時期をずらし、皆様の関心の高い“食”をテーマとした講演会を開催しました。

5. 総会

コロナ感染の第6波にそなえ、人数を制限し開催します。総会後は有志の皆さんによる楽器演奏を楽しんでいただきます。

6. サークルとの共催事業

サークルとの共催事業を積極的に実施しました。3サークルの協力を得て、アウトドアのイベントを実施しました。他のサークルを知る良い機会になったと思われます。

2-3 広報部報告

広報部長 玉上佳彦

1. 本年度の活動

広報部は、ところざわ倶楽部の会員相互の情報発信ツールとして、広報紙「広場」とホームページの二媒体をベースに、発行・発信作業に取り組んできました。他のサークルとのコラボレーションが可能となるように、各サークルの活動を幅広く公開して、相互交流を拡大・促進できるツールとして機能させております。

昨年度は、残念ながら、新型コロナウイルス感染防止のため、「広場」の休刊が1回ありましたが、今年度は、編集委員各位の努力によって、毎月の編集会議は短時間での会議とし、事前のメールによる相互送信での校正等で、なんとか毎月発行が可能となりました。

2. 広報紙「広場」について

- ・「広場」は、HPをご覧いただけない方々にも見ていただける紙媒体での情報発信ツールとしての機能を果たしていますので、今年度は休刊を避けるようにしてきました。
- ・2021年2月号のみ、都合により6頁構成で発行しましたが、その他の月は全て従来通りの8頁構成で発行することができました。
- ・昨年同様に、編集委員には積極的に女性に入ってください、現在15名の編集委員のうち7名が女性で、活発な提案によって、「みんなの広場」、「おすすめの1冊」などの新

たな企画を進めてきました。

- ・2018年6月号からスタートした「戦争と平和！」シリーズは、毎号の投稿によって内容が充実し、2021年1月号で全27回続いたシリーズを発展的に解消し、新たなシリーズ「世界の平和を考える」を、3月号からスタートしました。今後は、会員だけでなく、特別会員の方々にも投稿いただく予定です。
- ・7月号では、ところざわ倶楽部設立時からの「広場」編集部長として、本年1月号まで編集に携わっていただきました大先輩の故池田新八郎氏を悼む追悼頁を作成し、多くの方々の追悼文を掲載いたしました。
- ・9月号では、所沢市民大学の修了時期のずれに合わせ、新入会員紹介号を挿入しました。
- ・10、11月号では、コロナ禍で開催できなかった「ところざわ倶楽部まつり」の展示部門に代わるものとして皆様の作品を広場の紙面で紹介する「紙上作品展」を企画しました。

3. ホームページの活用

- ・HPは緊急事態宣言中も、毎週休むことなく更新して、皆様に最新情報を発信してきました。おかげさまで、各サークルの活動報告や会員の投稿、豊富な会員個人からの情報・案内なども掲載することができました。
- ・ビデオ動画の作成により、紙面とは異なるサークル活動を紹介してきました。現在は民話の会、スマイルパイレーツなどの活動風景を Youtube にアップしていますので、ところざわ倶楽部のHPから見ていただくことができます。

4. Zoom meeting を活用したオンライン会議、講演会などを実施

コロナ禍で会議、集会ができない状況の中で、Zoomでの理事会、サークル活動を実施してきました。

2-4 サークル活動報告

1. 葵の会 代表：水上 俊彦 連絡先：080-6855-5868 会員数：27名

1. 本年度の方針

新型コロナ感染対策ガイドラインに従い予防しつつ、及川道之先生による講座「万葉集」を11月から始めました。昨年度と同様に古典芸能鑑賞、文学散歩とお花見、及び会員の親睦を兼ねた新年会と暑気払い、秋のバス旅行等を計画しました。

2. 本年度の実績

1月、及び2月は新型コロナ対策のため公民館休館となり、及川道之先生の万葉集講座と例会は休講・休会としました。3月以降もコロナ感染者状況から公民館活動は中止されることを危惧しましたが、公民館活動が再開され講座・例会は引き続き続けて実施出来ました。しかし、新型コロナ感染者は拡大を示し9月も休会としました。その他に計画した能楽鑑賞(6月23日国立能楽堂)以外の活動はすべて中止と致しました。ところざわ倶楽部の会計年度に併せ、今年から「葵の会」の会計年度を11月～10月と規約を改正致しました。今年度は悲しいことに、「葵の会」発足と発展に努力されて来られた飯泉陽子様(2月)、及び池田新八郎様(4月30日)を病気で失いました。お二人のご冥福を祈りました。

3. 来年度の方針

及川道之先生の講座を主体に、続けて「万葉集など古歌」についての講義を予定しています。更に、今年度コロナ対策状況を見ながら他の活動を実施していく予定です。

2. アジア研究会 代表：玉上 佳彦 連絡先：090-2497-1076 会員数：34名

①今年度の方針：最近の中国、台湾、韓国、東南アジア諸国などにて、政治情勢が緊迫しつつあるので、その現状と今後の問題点について、会員各位の調査報告、具体的問題に関する討論会、他サークルとのコラボレーションなど通して、学びを深め、草の根レベルでのアジア諸国の人々との交流・親善を図る。

②今年度の活動実績：各会員により以下のようなテーマで報告・討論を実施

- ・米中新冷戦、台湾問題、新型コロナの世界の感染状況、米中覇権争い、ミャンマー問題、離島防衛の課題、後藤新平を語る などを実施
- ・中国映画「山の郵便配達」鑑賞
- ・Zoomでのオンラインミーティング、オンライン飲み会など

③来年度の方針：

- ・深刻化するアジア情勢に関するテーマで、各会員の報告を受け、討論を進める
- ・外部専門家による講演、発表会を企画(他サークルとのコラボレーション)
- ・コロナ感染状況が落ち着き次第、JETROアジア経済研究所などの外部施設の見学を実施し、見聞を広める

3. 活いきシニア福祉の会 代表：川上 紀春 連絡先：090-5573-2548 会員数：16名

① 今年度の方針

- (1)国・地域福祉制度を学ぶ（重点継続）(2)健康・終活に役立つ知識を学ぶ
- (3)近隣散策等コロナ禍でも楽しめる企画を検討

② 今年度の活動実績

【11月】「地球温暖化」に関しコロナ禍における現状や日本及び世界の取組について学習

【12月】「今年1年の振り返りと来年の活動計画について」意見交換

【2月】「超高齢社会について考える」DVD視聴と意見交換

【3月】「SDGs」の「2030アジェンダ」及び「17の目標」について学習

【4月】「原発故郷3650日」のDVD視聴と意見交換

福島第一原発事故から10年、復興は本当に進んでいるのか。現状について再認識

【5月】「第5次地域福祉活動計画in所沢」(WITHプラン)を学習

【6月】市民大学27期2年次福祉グループのグループワーク成果を聴講。タイトル「私たちが考える高齢化社会“いきいき・元気に・自分らしく”超高齢社会を生きるために」

【7月】〈市民後見いきいきNet 所沢〉中川 博之氏「終活」に関する講演会を聴講

・遺産相続・遺言書作成・墓じまい・自分のお墓をどうするか・身元保証問題等学習

【9月】「男はつらいよ お帰り寅さん」50周年記念 DVD鑑賞

③ 来年度の方針 (1)国・地域福祉制度を学ぶ（重点継続）(2)認知症・在宅介護・終活に役立つ知識を学ぶ (3)コロナ禍でも楽しめる企画を検討

4. 楽悠クラブ 代表：田村 健一郎 連絡先：2949-3434 会員数：32名

①今年度の方針

オペラを主として、クラシック、ミュージカル、ジャズ、バレエ、音楽映画など、様々なジャンルのものを鑑賞すると共に、可能であれば演奏会や音楽講演会に参加する。

②今年度の活動実績

1)DVD、LDによる月例会鑑賞： 【11月】ジャズ&ポピュラー音楽を楽しむ 22名参加

【12月】ベートーヴェン生誕250周年特集鑑賞及びサークル総会 21名参加

【1月】オペラ「夕鶴」17名参加 【2月】リクエスト特集 16名参加 【3月】ヴェルディ

歌劇「椿姫」21名参加 【4月】ヴェルディ歌劇「オテロ」20名参加 【5月】ミュージカル

映画「マイ・フェア・レディ」14名参加 【6月】「ヴァイオリン演奏曲特集」17名参加

【7月】「日本の伝統音楽特集」17名参加 【8月】休会 【9月】「日本の伝統音楽特

集」第2部&ワーグナー歌劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」前篇 22名参加

【10月】ワーグナー歌劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」後篇予定

2)その他の活動は中止

③来年度の方針

月例会では、今年度実施出来なかった演目を含めて、様々なジャンルの音楽を鑑賞とともに、可能であれば演奏会や音楽講演会に参加する。

5. 食を通して所沢を知る会 代表：木下 みえこ 連絡先：090-7272-6752 会員数：12名

① 今年度の方針

◇新型コロナに対する知識を得ながら感染対策・感染予防を十分に行い、食に関する学びを深める活動をする。 ◇フードバンク(社会福祉活動)への協力。

② 今年度の活動実績

11月・ミニ講演 講師：玉上佳彦氏「食物繊維の話」 12月・定期総会 1月・定例会 2月・定例会 3月・ミニ講演 講師：古市千夏氏「正しい日用品・化粧品の選び方」～免疫を下げない生活～ 3月30日・OH!!!～発酵、健康、食の魔法!!!～・能仁寺 4月・ミニ講演 講師：玉上佳彦氏「コロナウイルスの感染とワクチンの状況」 5月・料理教室「大豆ミートを使った料理」 6月・「ふらっと祭り」登録団体としての準備と参加 7月・8月の合同定例会打合せ(自由参加) 8月・「地球環境に学ぶ」サークルとの合同定例会 9月・「食トコ」講座 講師：保健センター職員(管理栄養士)「生活習慣病予防」(糖尿病予防について) 10月・三富今昔村

③ 来年度の方針

◇食に関する学びを深める為の講座・講演会(他のサークルとの勉強会等)の開催
◇所沢産の野菜等で料理を考案・実践する。 ◇食に関する工場見学の実施等を予定。 ◇フードバンクへの協力。

6. 地球環境に学ぶサークル 代表：中島 峯生 連絡先：2928-1161 会員数：13名

1. 今年度の方針

- ①環境関連見学会、第五福竜丸、東部クリーンセンター、他、(コロナ禍の状況で中止)
- ②温暖化の現状、緩和策・適応策、再生エネルギーの普及状況、廃プラ、ゴミ等の状況・生物への影響等を定例会で討論、学習し情報として「広場」又はHPに掲載し発信する。
- ③ごみの処理については、近隣市町とも連携し継続する。

2. 今年度の活動実績

- ①講演会：所沢市出前講座「ゼロカーボンシティ所沢」7月3日を協賛
- ②サークル活動報告：広報紙「広場」に環境問題シリーズを2020/10月号～2021/10月号に掲載した。特に環境行動宣言を創り、チェックシートは、倶楽部員に展開した。
- ③食トコと合同定例会を開催、環境問題を報告し、環境と食料問題の意見交換をした。
- ④読書会の実施：環境関連本を選択し定例会と別に実施した。

3. 来年度の方針

- ①施設見学会：第五福竜丸、東部クリーンセンター、他、(コロナ見て状況判断)
- ②定例会での討論、学習した情報を「広場」、HPに掲載、等で発信する。主な事項・温暖化の現状・再生エネルギーの普及状況、廃プラ、ゴミ等の状況・生物への影響他
- ③読書会を実施する。④ごみの処理については、近隣市町とも連携し継続する。

7. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 代表：田口元也

連絡先：090-9820-5668 会員数：7名

1. 今年度の方針

- ① シニア世代の健康で豊かな生きがいのある生活をめざす。
- ② シニア世代の社会参加による元気なマチづくりをめざす。
- ③ シニア世代の相互の助け合い・支え合いによる健康寿命の延伸をめざす。

2. 今年度の活動実績

- ・コロナ禍により対外的な活動は、ほとんどできなかった。
- ・「市政ひよこ塾」の開催：7月出前講座で「子育て支援」をテーマに学習した。
- ・定例会の開催：コロナ禍において毎月1回、会員相互の情報交換・交流を深めた。
- ・市民活動支援センター登録団体として交流活動：センター主催の連絡会議に出席。
- ・SP活動：恒例の行事・イベントは中止となったが、自主練習をほぼ月2回開催。

3. 今後の活動予定

- ① コロナ禍ではあるが、毎月の定例会は開催。
- ② 「なんでも塾」「市政ひよこ塾」の開設：適宜学習活動・交流会を開催。
- ③ シニアサロンの開設：対外的なサロン「たまり場」は定例会の範囲で開催検討。
- ④ 関連サークルとの交流：他サークルとの連携は共有する課題によって共催検討。
- ⑤ SPの活動：諸イベント・行事参加、老人ホームなどの施設訪問には支援・協力。

8. 所沢の自然と農業 代表：稲村洋二 連絡先：2992-1751 会員数：32名

① 今年度の方針

- *雑木林・里山保全活動の継続。(トトロ21号地の保全、柳瀬荘黄林閣散策路整備)
- *農家支援活動(陽子ファーム、伊東農園落ち葉掃き等、信州高山村官川農園)
- *野菜づくり活動(市大ファーム、山田ファームでの無農薬野菜栽培)
- *春・秋のハイキングで健康づくり、講演会等開催。

② 今年度の活動実績。

今年度は1月の陽子ファーム、伊東農園の落ち葉掃きで活動、2月のトトロ21号地落ち葉掃きを行った。黄林閣の管理人の針生清美さんによる講演会を4月の定例会で実施。4月に2日間増田農園の新茶摘み、8月には淵野雄二郎先生の紹介による小平の小山農園でのブルーベリー狩りを実施。7月に会員主宰による料理教室を開催した。また、新しい試みとして市大ファームのメンバーによる陽子ファームの収穫支援、子供支援ボランティア活動も開始した。トトロ21号地の活動はカシノナガキクイムシによる樹木被害を防止するためにトラップによる定期的管理を行った。リンゴ農家の支援は中止した。新メンバー2名

③ 来年度の方針

今年度の実績をベースに活動を継続していく。新たな問題として市民大学で農業講座がなくなり、新会員の募集について方策を考える必要があると考えている。

9. 野老澤の歴史をたのしむ会 代表：大館 徹 連絡先：2924-3010 会員数：43名

1. 今年度の方針

月2回の活動実施を目標とする。昨年度中止になった活動計画を復活させる。毎年続けている講師を迎えての所沢の歴史講座で学びを深める。節目の10周年の歩みを理解して今後の歴史探訪の楽しみ方を更に広げて行く。会員数増減の中で親睦を深められるような全員参加の活動計画、秋のバス旅行で遠方への歴史探訪。

2. 今年度の活動実績

1月はコロナ感染拡大が収まる気配がないので中止した。2月からは神社仏閣や郷土資料館などの見学はまだ閉館が多く中止にして、ところざわ倶楽部とコラボでの活動（航空公園の歴史探索）を始めとする野外活動に切替え、又は内容変更して6回活動してきた。

7、8月はオリンピックを家庭でのTV観戦として夏休みとした。後半も第5波コロナ感染者数は最大となり、計画実施は躊躇するも歴史講座2回、歴史散策の内容を変更しながら、少しでも多くの活動実績の積み上げを目指す。

3. 来年度の方針

月2回の活動実施を目標とする。活動アンケート調査による内容を計画検討する。毎年続けている講師を迎えての所沢の歴史講座で学びを深める。野外活動には健康を考慮したウォークをとり入れる。全員参加の計画及び実施で身近な歴史発見をたのしむ。

10. ドラマティック・カンパニー 代表：高橋信行

連絡先：090-9393-6238 会員数：11名

① 方針

- ・月例会の開催維持
- ・文脈を読み込み朗読の工夫（作者の意図、人物心理状態、位置関係など・・・）
- ・作品読了後、配役を決めて本番さながらの朗読劇を実施。講師・笠松泰洋先生からご批評・ご指導を頂くこと。

② 活動実績

- ・今期（'20/11～'21/10）も毎月2回の例会は新型コロナウイルス禍の為休会が続き予定の半分しか消化できていない状況。
- ・シェイクスピア戯曲「リチャード2世」、「ヘンリー4世第一部・第二部」を終えた。10月度から「終わりよければすべてよし」を取り上げる。
- ・配役を決めての「朗読劇」は実行できていない。

③ 今後の方針

- ・基本方針に変更なし（定例朗読会の継続実施）
- ・朗読の済んだ作品のサークル内での「朗読劇」実行。
- ・前年度は出来なかった懇親会の実施。

11. 懐かしの映画・鑑賞会 代表：二上拓夫 連絡先：080-1250-6151 会員数：31名

① 今年度の方針

例年同様月2回の上映会を目指す。暮らしの歳時記。川越スカラ座 無声映画。
ところざわ倶楽部まつり参加。所沢 JAZZ フェスティバル他参加。

② 今年度の活動実績

例年通り2回/月の上映会の計画を立てる。

コロナ感染拡大の為1月、中止2月「鉄道員」ぼっぼや上映

3月2本上映。暮らしの歳時記中止。4月万引き家族。5月～6月4本上映

以後、8月、9月、コロナ非常事態宣言発令、台風豪雨、『熊野神社会館』上映会場修理
の為中止。

今後、赤ひげ、老人と海、あげまん、パリの恋人、等上映 年度締め会。12月忠臣蔵。

③ 来年度の方針

基本の方針に変更なし。

暮らしの歳時記

コロナ感染拡大を見ながら実施。

12. 脳活サークル 代表：加曾利厚雄 連絡先：2939-2308 会員数：14名

<今年度の方針>

新型コロナウイルス感染症の影響で、例会を中止とすることも予測されるが、今年度の活動も「公的機関のルール」を守りつつ、個人に課せられた基本的な事項（マスク・手洗いなど）も順守で会の運営を実施してまいります。活動の基本的な考え方を「健康寿命を如何に延ばすか」という事として、認知症に絡めて行事を考えました。今年度は屋外行事（名所などの散策・バーベキュー・見学会など）も含めて推進します。

<今年度の活動実績・予定>

4月26日	総会：方針と計画の決定	実績
5月24日	山口観音と太陽光発電所見学	同上
6月28日	新聞記事から話題を拾い皆でワイワイ話し合い	同上
7月26日	講師：泉志津子氏を招き「認知症について意見交換」	同上
9月27日	地域支援センターによる「しっとこノート」記入法など勉強	同上
10月23日	彩の森入間公園「バーベキュー」	予定
11月22日	フラワーアレンジメント：安田好子講師指導	同上
12月13日	「音楽療法」佐井佳代子先生指導	同上
1月18日	「落語鑑賞」国立演芸場	同上

13. 傍聴席 代表：石堂智士 連絡先：2947-0835 会員：17名

① 今年度の方針（来年度の方針も同じ）

「傍聴席」は所沢市の市議会を傍聴し、市政と市政に関する身近な問題を幅広く仲間と話し合い考えます。またブログ「傍聴席」を通して伝えることを目的にしています。

② 今年度の活動実績・活動計画：

- 2.11.19 「市議会議員 中村太氏との意見交換会（質疑応答を含む）」
- 2.12.21 「今年の反省会・最近の話題」 会員の自由討議
- 3.01.18 ※1/10 緊急事態宣言により、「総会・今年の計画」を延期
- 3.02.15 ※2/8 緊急事態宣言延長、「総会」報告事項をメール伝達
- 3.03.15 ※3/8 緊急事態宣言延長、「今年の計画」を延期
- 3.04.19 ところざわ倶楽部「チャリティーコンサート」のため定例会を中止
- 3.05.18 ※4/20 蔓延防止措置により、「今期の計画」提案のメール募集
- 3.06.15 ※5/28 蔓延防止措置延長により、「今期計画」提案の自由討議を延期
- 3.07.19 「今期計画」自由討議から、活動結果の課題浮上、「長期テーマ」を募集
- 3.09.22 ※8/2 緊急事態宣言の延長により、「長期テーマ」を確認、「進め方」を協議
- 3.10.19 「長期テーマ」の自由討議とグループ分けによる「全員学習」の推進
今年の参加者は9～11人です。ブログは2019年8月からライブドアブログへ変更。

14. 民話の会 代表：仲山富夫 連絡先：090-3902-0283 会員数：10名

① 今年度の方針

*児童館でのお話会の機会を増やし、小学校三年生の授業テーマ「地域を知る」を継続担当（5校を6校へ）、各種老人施設での「民話の会」を実施する。

*所沢の民間伝承（説話や伝説）を聞き取りまとめ、新たな「物語り」の創作を目指す。

② 今年度の実績

*コロナ禍にあって、お話会は全て中止した。

*公演活動は中止となったが、定例会での学習に重点を置き、資料づくりを行った。

「絵で見るむかしのところざわ」その1・2・3の作成。

「所沢発祥の地のはなし」の作成（航空発祥の地、保健所発祥の地他）。

③ 来年度の方針

「民話の会」設立10年目を迎え、会員一同新たな気持ちで活動を行う！

*児童館・小学校・各種老人施設等で、お話会の再開。

*話し会の内容の幅を広げ（オリジナル音楽や踊りを取り入れた演出等）、皆で楽しむ公演会をつくる。

*所沢の民間伝承を題材に、民話の創作に挑戦。

*多くの仲間を募り、楽しいサークル活動を行う。

第 14期 会計報告および監査報告

(2020年11月1日～2021年10月31日)

＜収入の部＞

(単位円)

項目	予算	決算	増減	備考
前期繰越金	284,173	284,173	0	郵貯・現金合計
会費	520,000	465,000	△55,000	14期実績 233名 X2,000円 or1,000円
会報郵送費	24,000	20,800	△3,200	14期実績 26名 X800円
講座受講料	70,000	83,050	13,050	今期は2日間、会員59名 X1,000円・一般19名 X1,300円(1名半額)
雑収入	0	66,651	66,651	パーティ・コンサート寄付金 64,951円 文芸講座寄付金 1,700円
合計金額	898,173	919,674	21,501	

＜支出の部＞

(単位円)

項目	予算	決算	増減	備考
講演会講師謝礼	150,000	115,000	△35,000	パーティ・コンサート40,000円、文芸講座45,000円、講演会30,000円
会場費	171,000	80,470	△90,530	理事会・15期総会・講演会・コンサート等
振込手数料	7,000	8,970	1,970	会費・郵送料等郵便振替手数料
会報発行費	40,000	46,794	6,794	「広場」(用紙代・印刷代・インク代)
会報郵送費	40,000	30,912	△9,088	特別会員への「広場」郵送料を含む
通信費	25,000	14,357	△10,643	総会資料発送等、
	15,000	15,000	0	正副会長連絡事務費
事務費	115,000	56,195	△58,805	事務用品・消耗品・総会講演会花代等
サークル補助費	70,000	132,000	62,000	活動補助費(14C、3月・10月)
IT費	62,000	63,422	1,422	HPサーバ-使用料、ウイルスソフト、Zoom年間契約(22,110円)及び対応備品購入
雑費	0	67,951	67,951	コンサート寄付金を所沢市社会福祉協議会へ寄付(64,951円)等
予備費	50,000	15,367	△34,633	拡声器(3)、のぼり旗、除菌用品等
次期繰越金	153,173	273,236	120,063	現金・郵貯合計
合計金額	898,173	919,674	21,501	

上記のとおり報告いたします。

2021年10月31日 総務部 会計 中原幹男 ㊟ 大西 優 ㊟ 木下みえこ ㊟

＜監査報告＞

ところざわ倶楽部(2020年11月1日～2021年10月31日)の会計書類について監査を行い、報告書は2021年10月31日現在の財産及び収支状況を適正に表示していることを認めます。

2021年11月5日 会計監査 遠山とも子 ㊟ 田口元也 ㊟

4. 第15期役員改選（案）

No	期	氏名	第15期役職	理事	第14期役職	推薦母体及びサークル
1	20	中原 幹男	会長	留任	副会長総務部長	地球環境に学ぶ
2	25	松尾 基昭	副会長事業部長	留任	事業部副部長	アジア研究会
3	20	玉上 佳彦	副会長広報部長	留任	副会長広報部長	理事会推薦
4	22	大西 優	副会長総務部長	留任	総務部副部長	所沢シニア世代地域デビュー支援の会
5	25	梅津 博紀	事業部副部長	留任	事業部担当理事	
6	24	小田島 禮子	広報部副部長	留任	広報部副部長	理事会推薦
7	23	大木 美和子	総務部副部長	留任	副会長	理事会推薦
8	15	仲山 富夫	事業部担当理事	留任	事業部担当理事	民話の会
9	16	薄井 文子	事業部担当理事	留任	事業部担当理事	脳活サークル
10	19	園田 ヒロ子	事業部担当理事	留任	広報部担当理事	理事会推薦
11	22	内川 賢治	事業部担当理事	留任	事業部担当理事	懐かしの映画・鑑賞会
12	22	高橋 信行	事業部担当理事	新任		ドラマティック・カンパニー
13	24	鹿嶋 伸郎	事業部担当理事	留任	事業部担当理事	楽悠クラブ
14	24	佐野 喜代子	事業部担当理事	新任		野老澤の歴史をたのしむ会
15	24	田沼 幹子	事業部担当理事	新任		葵の会
16	26	岩淵 雅之	事業部担当理事	新任		理事会推薦 28期企画委員長
17	27	野口 喜美夫	事業部担当理事	新任		理事会推薦 29期企画委員長
18	23	川上 紀春	広報部担当理事	留任	広報部担当理事	活きいきシニア福祉の会
19	25	浪間 扶美子	広報部担当理事	留任	広報部担当理事	所沢の自然と農業サークル
20	17	石堂 智士	総務部担当理事	留任	総務部担当理事	傍聴席
21	23	木下 みえこ	総務部担当理事	留任	総務部担当理事	食を通して所沢を知る会
22	24	茂出木 正和	総務部担当理事	新任		理事会推薦
23	19	岡崎 久子	会計監査	新任	総務部担当理事	理事会推薦
24	20	田口 元也	会計監査	留任	会計監査	理事会推薦

退任理事：佐藤重松、森野辰夫、岡崎久子、水上俊彦、西郡貢、粟屋貴夫

退任会計監査：遠山とも子

5. 第15期 ところざわ倶楽部 活動方針 (案)

明るく 楽しく 元気を取りもどしましょう！

ところざわ倶楽部 会長 中原幹男

2020年から世界に蔓延した新型コロナは、累積感染者数が2億5,000万人を超える勢いで、累積死者数は500万人に達し(2021年10月時点)、日本では、累積患者数172万人、累積死者数18,000人を超えてしまいました。コロナ禍で犠牲となられたみなさまのご冥福をお祈り申し上げます。

コロナに翻弄され続けた2年、心もからだも萎縮してしまいました。音楽、芸能や学習の場も制限され、屋外イベントすら中止があいつぎ、不要不急と思われがちな高齢者の外出機会が制限されました。しかし、感染防止の有効な対策が理解されるようになると、少しずつ活動ができるようになって、世の中はコロナとの共存を模索し始めました。

ところざわ倶楽部も、2020年は行事を縮小しながらもなんとかつながり続ける方法を探し、2021年は「ところざわ倶楽部まつり」こそできなかったものの他の行事は感染予防対策を工夫しながら開催しました。会員のみなさまが高い意識を以って予防に取り組まれ、一人も感染者が出なかったことと信じております。

当倶楽部の特長は、種々のサークルが市民大学の理念をうけつぎ、学びを広め、特色のある活動を行い、地域に貢献していることにあります。また、サークル同士が交流し、お互いに刺激し合っており、複数サークル所属会員が多いのも特徴です。

新年度は、コロナを意識しながらコロナ前の活動を徐々に取り戻し、また、サークルとコラボして会員全体が楽しめ、高めあえる企画を実行します。企画の成功3要素は、1)内容の面白さ 2)演者の味 3)参加者の盛り上げです。3番目については第11期以来、理事と各サークルの協力で行事参加者が増加して盛り上がり、企画運営、演者、参加者ともに満足感が増しました。この2年間はコロナの影響でどうしても消極的になりましたが、新年度はみんなが元気を取り戻せるように企画運営してまいります。唐突ですが、私が参加している“チアダンスのスピリッツ”は、「笑顔」「元気」「応援する気持ち」です。がんばろうとする人を応援し、がんばれない人にも寄りそう運営をしてまいります。

* 新年度の恒例行事のほかに取り組む課題：持続可能な会員構成の維持

- ・ 市民大学修了生の入会勧誘
- ・ 市民大学現役受講生の入会勧誘
- ・ 現役社会人が受講しやすい市民大学システム改善の働きかけ

6. 第15期活動計画（案）

6-1. 事業活動計画（案）

事業部長 松尾基昭

1. 活動方針

ようやくコロナ第5波も落ち着き、世の中も元の生活に戻り始めていますが、第6波を予想した態勢づくりが求められ、おこたりにくく WITH コロナを意識した運営をして参ります。

今年度は、昨年度好評であったアウトドア企画を含めて、心と身体の健康を意識したイベントと、例年好評の文芸講座や講演会など、みなさまの期待に沿える内容のものを準備いたします。コロナ禍問題は先行き見通しづらいこともあり、状況により計画変更もあることをお含みおきください。

今年度の事業部の活動につき、会員皆さまのご理解ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2. 活動計画

- ① 健康増進セミナー：健康問題に関する学びと実践の企画（新会員歓迎会を兼ねて）
- ② 文芸講座：例年好評につき会場確保問題あるも複数日開催を目指す
- ③ 時局講演会：時宜を得たテーマに沿った講演会を計画
- ④ 各サークルとの連携企画
- ⑤ 総会：第2部での企画検討

第15期 事業計画：開始時期及び概要

	イベント概要	時期	会場	会場人員	備考
1	健康増進セミナー	2月27日	ホール	100名程度	企画内容検討
2	文芸講座	6、7月	ホール	会場による	一般会員も募集
3	時局講演会	秋	ホール	100名程度	〃
4	各サークルとの連携企画イベント	適宜		都度	(小規模開催)
5	総会	11月	ホール	100名程度	会員限定

*ところざわ倶楽部まつりについては、コロナの感染状況を鑑み開催を検討する。

6-2 広報活動計画（案）

広報部長 玉上佳彦

広報部は、昨年のようなコロナ禍の中でも、これまで同様に、各サークルや地域にて活躍されているアクティブシニアを応援する情報発信ツールとして、広報紙「広場」とホームページを充実させていきます。具体的には以下のような施策を進めていきます。

1. 活動方針

ところざわ倶楽部の理念である

- ①学習活動の継続
- ②会員相互の親睦と情報交換
- ③学びを地域に活かす
- ④ネットワークづくり

を念頭に、ところざわ倶楽部の広報媒体としての広報紙「広場」とホームページにて、的確かつタイムリーな情報発信に注力していきます。

2. 編集体制の強化

- ・昨年同様に、約半数を占める女性編集会議メンバーとともに、編集体制の強化を図り、特に女性の編集委員の提案・企画にもとづき新たな方向性を探っていきたいと考えています。
- ・前年度と同じく、役員の編集会議への参加を要請し、ところざわ倶楽部各部の活動方針との整合性をもたせるようにいたします。

3. 広報紙「広場」

- ・原則として、従来どおりの8ページ構成の紙面の月刊紙として発行し、HPでの閲覧ができない会員への情報提供媒体とし、市民大学受講生や各公民館への配布も継続していきます。現在は、公民館だけでなく、コミュニティセンター、こどもと福祉の未来館、野老澤町造商店などにも配布しています
- ・昨年4月に作成した「索引」の追加編集により、これまでの広場のバックナンバーを探索しやすい索引の利用を促進していきます。

4. ホームページ

- ・コロナ禍でも継続することができるネットを活用した最新の情報発信の必要性を実感していただいたHPを今後も、毎週滞りなく更新していく予定です。
- ・双方向の情報発信が可能ですので、みなさまからのHPへの投稿をお待ちします。

5. Zoom meeting、Youtubeの活用

新たな時代の情報活用場として、プロジェクトチームで、各サークルの活動場面のビデオ動画撮影を進め、Youtubeにアップロードして、HPで閲覧できる体制を充実させていきたいと考えております。みなさまからのご提案をお待ちします。

7. 第15期 予算案

(2021年11月1日~2022年10月31日)

《収入の部》

(単位円)

項目	前14期決算	15期予算	増減	備考
前期繰越金	284,173	273,236	△10,937	
会費	465,000	480,000	15,000	240名 X 2,000円
会報郵送費	20,800	20,000	△800	25名 X 800円
講座受講料	83,050	115,000	31,950	文芸講座(4回)/ 一般 20X2,000 会員 50X1,500
雑収入	66,651	0	△66,651	
合計金額	919,674	888,236	△31,438	

《支出の部》

(単位円)

項目	前14期決算	15期予算	増減	備考
講演会講師謝礼	115,000	150,000	35,000	健康講座、文芸講座、講演会
会場費	80,470	240,000	159,530	総会、ところざわ倶楽部まつり、講演会、講座、理事会等
振込手数料	8,970	8,000	△970	会費・「広場」郵送料ゆうちょ振替手数料
会報発行費	46,794	45,000	△1,794	「広場」(印刷代・用紙・封筒・印刷代等)
会報郵送費	30,912	30,000	△912	「広場」送料(郵送希望者・特別会員)
通信費	14,357	15,000	643	総会資料送料等
	15,000	12,000	△3,000	正・副会長連絡事務費
事務費	56,195	105,000	48,805	チラシ・ポスター・講座資料印刷代・コピー用紙封筒・総会花代等
サークル補助費	132,000	70,000	△62,000	活動補助費(14サークル)
IT費	63,422	57,000	△6,422	HPサーバー使用料、ウイルスソフト更新、Zoom Pro年間契約等
雑費	67,951	0	△67,951	新春の集い中止の為不計上
予備費	15,367	70,000	54,633	コロナ感染症対策費ほか
次期繰越金	273,236	86,236	△187,000	
合計金額	919,674	888,236	△31,438	

総務部長 中原幹男

【メモ】

（以下、内容が非常に淡く、ほとんど読み取れない状態です）



ところざわ倶楽部